



みつ小だより

【校訓】なかよく げんきよく せいいっぱい

第9号
たつの市立御津小学校
〒671-1341
たつの市御津町釜屋206番地
TEL 079-322-0020
FAX 079-322-2347
学校ホームページ二次元コード
発行責任者 校長 田辺 育恵



絆を力に、未来へ駆ける午年のスタート



新年あけましておめでとうございます。令和八年の幕開けとともに、子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。冬休み期間中、ご家庭や地域での温かい見守りを賜り、心より感謝申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年の干支は「午(うま)」です。古来、馬は、群れを成して生活し、仲間との協調性や結びつきを大切にする動物と言われています。子どもたちも、この午年の精神にならい、日々の学校生活の中で友だちと心を通わせ、励まし合いながら進むことで、より遠く、より高い目標に到達できるような「飛躍」「前進」の年にしてほしいと願っています。

三学期は、現学年のまとめであると同時に、一年間の学習や生活を総点検し、來たる次学年への助走を始める大切な時期です。一人一人が成長を実感し、着実に歩みを進められるよう、教職員一同、教育活動に励んでまいります。

子どもたちの健康面や安全面でのご配慮や、日々の温かい励まし等、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。



〈みんないっしょけんめいみつっ子〉

12/1（月）2年 校外学習

ヤマサ蒲鉾工場と姫路科学館を訪ねました。

蒲鉾工場では、魚のすり身が目の前でカニカマやちくわに変わっていく工程を見学し、「食の安全・安心」を守る工夫も学びました。

姫路科学館では、「宇宙」「科学」「地球と自然」をテーマにした多彩な展示にふれ、友だちと協力して実験装置に挑戦。驚きと笑顔にあふれた、学びの多い一日となりました。



12/11（木）小6・中2人間関係づくりプログラム

「たつの市人間関係づくりプログラム」で、御津小の6年生と御津中の2年生が交流しました。

中学生のリードのもと、工夫を凝らしたゲームを楽しむ中で、心の距離もぐっと縮まりました。

会場には温かな笑顔が広がり、子どもたちからは「楽しかった!」という喜びの声が聞かれました。中学校進学への希望を膨らませる、大変貴重な「繋ぐ」機会となりました。



12/12（金）5年 革細工体験

たつのレザーの皆さんのご指導で、革を使ったペンケースを作りました。様々な色や模様の革から好みのものを選び、世界で一つの作品を丁寧に仕上げました。



これまでの学習や体験を通して、たつのが誇る革の質の高さや技術の素晴らしさを実感することができました。



11/28（金）4年 大根ほり体験

兵庫西農協御津野菜センターで校区の成山新田の歴史や野菜づくりについて学習した後、畑に移動し、御津自慢の大根を収穫させていただきました。

やっとの思いでひき抜いたずっしり重い大根を抱え、子どもたちは、満面の笑みを浮かべながら収穫の感動を味わっていました。



(児童のお礼の手紙より)

●お仕事を休んで、わたしたちにお話を聞かせてくれて、大切な大根をひかせていただいてありがとうございます。●成山徳三郎さんや成山新田のことを知れてうれしかったです。●自分で、サーモンの大根おろしと、大根入りスープ、ピラフも作ってみました。おいしかったです。



11/10（月）・12/4（木）4年 車いす介助体験

社会福祉協議会御津支部のボランティアグループの皆さんのご協力のもと、車いす介助体験をしました。

歩いているときは気づかなかった、わずかな段差や坂道が、車いすには大きな障壁になることを、身をもって実感しました。何よりも大切なのは、相手の立場になって思いを巡らせることです。「みんなが安心して暮らせる住みよいまち」をめざして。今回の学びが、子どもたちの心の中に「支え合い」の種として根付いていくことを願っています。

12/12（金）6年 STEAM 教育推進事業



兵庫県立大学の先生のご指導のもと、電子顕微鏡を使って、アメーバがテトラヒメナを捕らえる様子を観察しました。

学校の顕微鏡では見ることのできない、生命力あふれるミクロの世界を目にして、教室からは驚きの声が上がりいました。子どもたちの科学への知的好奇心が大いに刺激された時間でした。

12/10(水)5年・18(木)6年 お話会

御津図書館のご協力により「お話し」を開催しました。心に響く読み聞かせや、おすすめの本を紹介する「ブックトーク」に、子どもたちは一気に本の世界へ引き込まれていました。

これからも、様々なジャンルの本へと興味の幅を広げ、映像にはない読書ならではの「自由な想像の世界」を楽しむ心を育んでいってほしいと思います。



12/16(火) たてわりグループ遊び



業間休みに、2学期最後の異学年グループによる遊びを行いました。「ハンカチ落とし」や「だるまさんがころんだ」など、遊びの中心となるのは、6年生です。下級生も一緒に楽しめるように心を配る姿が、大変頼もしく感じられました。各教室では、子どもたちの楽しそうな笑い声が響き渡りました。

祝 御津小学校

学校創立記念日 1月 8 日



←バルーンがつないだともだち校
千葉県鴨川市立東条小学校
昨日1月30日に「150年を祝う会」開催

~150周年から一年、奇跡の交流を未来へ~

昨年の1月8日に、本校の「創立150周年」を祝して、全校児童で空へ放った風船。あれからちょうど一年が経ちます。

あの日、ひとつの風船が約5時間かけて500km以上離れた千葉県鴨川市立東条小学校の運動場に届きました。奇しくも東条小学校も同じく創立150周年。このニュースは「風船がつないだ奇跡」として千葉県の新聞でも大きく報じされました。

この縁をきっかけに、両校は「150周年バルーンがつないだともだち校」として末永い交流を約束しました。今年度の入学式にも、東条小学校から温かな祝詞をいただきなど、友情は今も続いています。

たったひとつの風船が結んでくれたこの奇跡の絆を、これからも大切に未来へ繋ぎ、両校の子どもたちの健やかな成長を共に支え合っていきたいと願っています。



「学校沿革史」の一部を抜粋して紹介します。

明治 6年 (1873年)	学制発布により下記の6小学校を創設する ・隣池小学校（岩見村）・山田小学校（山田、加家、碇岩村） ・徳潤小学校（釜屋村）・明倫小学校（黒崎村） ・必成小学校（苅屋村）・啓蒙小学校（中島村）
明治 9年	6小学校を併合して、「開明小学校」と称する
明治 10年	山田村に西洋風2階建て校舎を建築
明治 11年	1月8日「開明小学校」開校式を挙行 1月8日を開校記念日とする
明治 33年度	7月 「御津尋常高等小学校」と改称
大正 14年度	新校地として釜屋206番地（現在地）を決定し、建築着手
昭和 2年度	4月 全学年現在校に移る
昭和 16年度 (1941年)	4月 国民学校令施行 義務教育8か年となる 「御津国民学校」と改称
昭和 22年度 (1947年)	4月 学校教育法施行 「揖保郡御津村立御津小学校」と改称 12月 町制施行 「揖保郡御津町立御津小学校」と改称
昭和 33年度	4月 御津小学校校歌を制定《学校創立80周年記念事業》
昭和 49年度 (1974年)	1月8日(S50.1.8) 児童数1047人 学校創立100周年記念式典・百年史発刊記念行事開催
平成 17年度 (2005年)	10月1日 児童数644人 1市3町の合併「たつの市立御津小学校」となる
令和 3年度	4月1日 「たつの市立室津小学校」と統合する
令和 6年度 (2024年)	1月8日(R7.1.8) 児童数415人 学校創立150周年記念行事
令和 7年度 (2025年)	1月8日(R8.1.8) 児童数393人 たつの市制施行20周年



1月 お知らせとお願い

一月の主な予定

- 8日(木) 学校創立記念日 地区児童会
- 9日(金) 給食開始
- 12日(月) (祝)成人の日
- 15日(木) 1年生 動物愛護教室
- 16日(金) 避難訓練
- 22日(木) 6年生 STEAM 教育推進事業
- 23日(金) 6年生 御津中学校入学説明会
- 26日(月) 新入生入学説明会
- 27日(火) 1~3年生 リズムジャンプ講習会



「1.17は忘れない」ひょうご安全の日

—うすれない記憶はない。つなぐべき決意がある。—

阪神・淡路大震災から31年を迎えます。昨年、兵庫県では、これまでの4つの防災スローガン「忘れない・伝える・活かす・備える」に、新たに「繋ぐ(つなぐ)」を加えました。震災を知らない世代へ教訓を手渡し、未来の命を守り抜くという強い意志の表れです。



本校でも、震災の教訓を「未来の命を守る力」としてつないでいくため、1月16日に避難訓練を実施します。

「つなぐ」活動は、特別な行事だけではありません。「あの日、何があったのか」を家族や友人と話すこと。我が家家の備蓄や避難経路をもう一度確認すること。こうした日常の小さなアクションこそが、確かな防災力へと変わっていきます。

ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に「わが家の備え」について話し合い、最新の防災対策を調べる機会をもってみてください。

タブレットが新しくなります

~NEXT GIGA 到来!「学びの相棒」に~

GIGAスクール構想が第2期に入り、近日、児童の端末が最新モデルに更新されます。文部科学省が掲げる「令和の文房具」として、学校と家庭の境目なく活用する「シームレスな学び」が本格化します。

端末を常に手元に置くことは、個別最適な学びを深める一方、自らを律して使いこなす力「デジタル・シティズンシップ」の育成も重要になります。

本校では、「紙とデジタル」双方のよさを大切にしつつ、端末を自らの可能性を広げる学びの相棒として、正しく安全に使いこなせるよう指導に努めてまいります。

ご家庭でも、端末の使用状況についてお子様と対話していただくなど、未来を拓く学びへのご理解とご協力ををお願いいたします。



来年度に向けてのお願い

来年度の児童数確定に向けて、転出入についての情報がありましたら、学校まで早めのご一報をよろしくお願いします。

